

音について調べてみよう

小6～

数人グループ

音マップをつくってみよう

3～4時間

野外

■概要

街中にあるいろいろな音について調べてみる。その音を不快に感じるか、心地よく感じるかを記録して、街の音マップを作る。

■ねらい

身近な生活の中にある音について考えることで、音環境と快適な暮らしのあり方について考える。

■準備物

- 地図
- 筆記用具
- バインダー

■進め方

活動	時間	内 容	注意事項
調査	140 分	・学校の周りの地図に、いろいろな音の出ている場所を書く。(自然のもの、人工のもの) ・どのような音が出ているか擬音語を用いて表し、どのような強さで出ているかを文字の大きさで書く。 ・どのような原因でその音が出ているか考える。 ・出ている音の中で「気になる音」「いやな音」「心地よい音」に分け、なぜそう感じたのか、その理由を書く。 ・「天気の良い日と雨の日」「昼間と夕方(あるいは朝)」で音の強さに違いがあるのかも調べてみる。 ・大きな音が出ている場所では、音が出ないように、あるいは音を小さくするためにやっていることについて、調べてみる。	道路沿道で実施する際には車や歩行者に注意する。
まとめ	30 分	・全員の調べた結果を持ち寄り、どんな音が心地よくて、どんな音がうるさくていやな音なのかを話し合う。 ・いやな音があれば、それを防ぐにはどうすればいいかみんなで考える。	

(授業の場合 調査 45 分×3、まとめ 45 分×1)

■解説

家あるいは学校の中での音について調べてもよい。